

銀河

全北海道退職教職員の会網走支部通信

No.93 2013年9月10日

道退教網走支部事務局
〒090-0836

北見市東三輪1丁目83-35

TEL 0157-31-7551 F ax0157-31-7559

2013年度

道退教網走支部総会

参加者の感想

久しぶりに楽しいひとときを過ごすことができ感謝しています。
事務局と会計の兼務、大変な仕事をゆだね心苦しく思っています。
総会の参加者が年々減少し、また支部員の離脱もでるなど将来的な展望がやや暗いなか何としても支部の灯を消さぬよう協力を惜しまぬつもりです。
機関紙「銀河」への投稿も前向きに考えていきます。
ともに頑張りましょう。

浅野 幹郎



- ◎総会の参加者、懇親会の参加者が少なかったには少し残念。
- ◎1年に1度顔を合わせる人もいて、近況を話し合うことができとてもよかったです。
- ◎何よりも健康が大切だということを年々痛感しました。
- ◎楽しみと運動の統一（融合）が退教のスローガンだとのこと。ボチボチ頑張ります。

曾我部 廣美

5月の楽しく有意義な総会はとても良かったです。そして「銀河」を読みその時を思い出していました。大江本家は好きな温泉です。チャンスがあれば行きたいところですね。

そして弦巻先生の報告を読みました。心に重たくひびきましたし、まだ1度も行っていない沖縄へは行かねばならないと思ったところです。

斎藤先生の絵手紙、飯田先生の“心の日記”も今、選挙戦の真最中なのでよくわかります。

今日は本来の7月というすごしやすい土曜日ですができることをやろうと皆さんと話しています。

いつも元気のでる総会を楽しみにしています。

来年もぜひお会いしましょう。お元気で！！

岩澤孝子



山行記録

小野田洋子

5月26日 十勝連峰のひとつオプタテ山(2012M)にスキーで登ってきました。

北見山岳会の仲間4人とです。前日林道の端にテント泊し、翌日4:00から行動開始。林道を歩くこと2時間半でやっと登り始める。1700M地点でスキーをアイゼンにはきかえ11:30に頂上着。7時間半かかる。すごく天気が良く遠く暑寒、日高の山々まで見える。下りは800Mの急斜面いっきに滑りおりひどく満足しました。

全行動時間は11時間半。あまり疲れは感じなかったが2、3日後急に暑くなったことや部屋のちらかりが気になりひとりプリプリしてたのでやっぱり疲れてるんだと思ったしだいです。

今週は北鎮岳から滑る予定です。

16年ぶりの温泉 良かったです。

教え子の子どもが6年生になったとのこと。びっくりしました。地域の様子も変わり学校も2年前に閉校になったまま。教員住宅と学校は立派なのに・・・。

TPPの話をしました。「どうしようもない。俺たちの代で営農方針を変えるか、できなければ廃業もやむなし。」とのこと。残念でなりません。

教え子の1人が閉校の時、私が使っていた立派なアコーディオンを保存してくれていました。それをいただいて帰ってきました。ありがたいこと！重いので手術した首が保つかどうか。心細いですが・・・。

懐かしい顔の皆さんに会えたこと楽しかったです。

齋藤 稔



◎ Tさんに声を掛けられ、ピース卵を生産している杉村農園に出掛けた。4月末にやってきた240羽のヒヨ子たち（キジ鳩のデデ・ポポ〜の声を聞いてデデ子と命名）が、ピヨピヨ、ピヨピヨと温室から出入りをしながら大事に保護されていた。薄茶の羽がちよこんと両側にくっついていてなんとも可愛い！手の平に乗るヒヨ子の体温が相乗するのか、じっとする。今、玄米を食べて成長、10月からの産卵を、楽しみにする。

◎ 今、運んでもらっている卵の生み親“お萩”の鶏舎に入るとき、石灰で長靴の底を消毒した。「問題のウイルスが鶏舎に入らないよう心がけているが、絶対はない。」という姿勢に信頼を深くする（原発は絶対だった）。お萩達が卵を産む清潔なそば殻が入っている箱が地面から50cm程上の棚に多数置かれていて生みたての卵のぬくもりが残る。コ、コ、コと歩き回るお萩たち

◎ 羽が欠損している2～3羽が気になった。アンデルセンの“みにくいアヒルの子”のように、少し羽の色が違うだけでつつかれるのも自然だから。

◎ TPP問題が、自然環境で、えさのほとんどを国内産で自家配合し産み出された“卵かけご飯”の味を、大きく左右する。これからも安心して食べたいから、TPPを捉え、反対する。

飯田禎子

語りつぐことの大切さを

～軍国主義と戦時下の人びと。その後～

2・11期言説復活反対北見市民集会講演のあらすじ その4

弦巻 宏史

(4) 北川アイ子さん ウィルタ民族 (1928～2007)

網走市には、旧樺太(現ロシア・サハリン島)の南半分から1958(昭33)年以来 ウィルタ民族など数家族20人程が移住して生活しております。

ウィルタはもとオロッコと蔑称され 文字をもたないなどから無智蒙昧・怠惰な民族とか、他の「土人」より愚鈍であると紹介されてきました。実は秀れた技と文化と心をもってウラア(飼いトナカイ)の遊牧をしながら、狩猟・漁撈・採集して平和に生活しておりました。樺太全土でも3～400人という世界でも少数民族のひとつです。

全てのものはボウ(天)の恵みであり、自然を共有し、貧しくとも平等であり「階級」も「国家」もつくり、したがって「戦争」ということばさえ持っていませんでした。

日本は、1905(明38)年から1945(昭20)年まで北緯50度以南を植民地として支配しました。1926(大15)年、旧敷香(旧ポロイスク)の郊外オタスにカラフトアイヌ以外の5民族を居住させ、改姓も行い、その生業を奪い、「土人の杜」という観光地にし、更に1931(昭6)年には「土人教育所」や神社もつくり、徹底した皇民化政策をすすめました。15年戦争の時代ですから、すべての面で「忠君愛国」の生き方を指導しました。

太平洋戦争開始の翌1942(昭17)年には、この少数民族の青少年たちにも召集令状を出し軍務としてさまざまな労働に従事させたり訓練をしました。

北川アイ子さんの兄、北川源太郎氏は、北緯50度線で国境警備とソビエト軍を諜報する任務に従事させられました。「土人」は極寒に耐えツンドラ上を巧みに移動し、地勢にも詳しく忠実であると)

敗戦時は、まさに残酷でした。日本軍は退去逃亡、「土人」の兵士たちはいよいよ国のため戦うことになったと決意して圧倒的に強大なソビエト軍に向かったのです。多くの犠牲者をだし、なお生存した兵士は粗雑な裁判でソビエトの捕虜としてシベリアに抑留されました。

兄源太郎氏は、最高刑の9年6ヶ月の重労働でした。

日本軍は逃亡しつつ火を放ったり、一般の人びとは逃げ惑いつつ引揚げていきますが、アイ子さんたち「土人」として扱ってきた民族には軍も警察も役人も、教師までもが「お前たちは、もともとここの民族なんだからここに残れ」と命じたのです。アイ子さんの心はまさに動転し、恐怖のどん底に落とし入れられました。その直後から、日本の引揚者の為の手伝い、そして老いた父母と子どもたちの生活の世話、貧しさと厳しい労働に追われ、ついに多忙と疲労と失望が重なり、川に身を投げることもさえました。しかし、父母、子どもたち、兄たちのことを思い立ち直りました。そして「この戦争はいったい何だったんだろう」お前の兄が、多くの者が死んだり病で帰ってくるのに元気で日本に行ったのは、収容所でうまいことをやったに違いないという中傷まであびせられました。「そんな兄ではない。どういうことだったのか」と考えるようになりました。ボウよりもっと偉い現人神・天皇は絶対負けないと言った……全てを知っているはずだと考え続けました。

兄源太郎の網走からの連絡で父と姉の家族が1958（昭33）年網走に、9年後の1967（昭42）年アイ子さん家族らが8人網走に移住しました。

兄は多くの先生方や女性や市民の支援で議会・市長の決議を経て国会に軍人恩給の請求をしました。全政党に要請しましたが共産党（小笠原貞子）のみがとりあげてくれました。しかし、1967（昭42）年日本政府は「軍人恩給請求却下」を下しました。全く不当です。その理由は簡略に述べると「北川源太郎は正式な戸籍ではなく、日本国籍を有していない」（単なる土人に与えた日本名である）「正式な戸籍のない者に日本帝国政府は招集令状を出していない」というものです。（おそらく当時の上官たちが員数を集めるために行ったことでは？）北川一族や他の人びとの悲しみと怒りは大きなものでした。話し合いと学習のなかで北川兄妹の新たな自覚とたたかいが始まりました。



まず、北川源太郎から民族の名　ダーヒンニェニ・ゲンダーヌへ。そして
①民族の文化を守る資料館の建設　②国境とシベリアで亡くなった仲間の慰
霊碑（キリシエ）の建立　③民族の交流のはじまりとしてポロナイスク訪問
を。この3つの夢を1970年代に実現しました。

しかし、残念なことに1982（昭57）年ダーヒンニェニ・ゲンダーヌ
氏が急死しました。

アイ子さんは病気がちになりましたが、新たな決意で運動を続けました。資
料館をアイ子さんの作品で充実させていく。研究集会や民族の交流に参加し、
講演に歴史と民族の証人として立つ。ウィルタ刺しゅうの市民講座を行い講
師となる。（今もフレップ会として会員50人位）。こうして民族の自立と日
本の人権と民主主義を問い続けてきました。いつもアイ子さんにとっては民
族としてたったひとりの闘いです。苦しさや悲しみいくつもやってきました。
いつもは、笑顔で応対し、多くの民主、平和団体と交流し、観光客の方々に
感銘を与えてきました。しかし彼女を苦しめたことに建国記念日や終戦記念
日があります。靖国神社参拝や、軍国主義的な政治家の発言や自衛隊の問題
はトラウマのように過去を思い出させ、怒りをかくしませんでした。いつも
のように資料館に出て見学者に会うことができず、家の中で怒りをあらわし
ていたのです。

アイヌや他の民族とは喜んで交流し、自分たちの文化について誇らしく語っ
たり踊って表現したり、民族文様のイルガを切ったり神への感謝やお願いを
バーバッチュリという祈りで表現していました。

このように数奇な生活にめげずに生きぬいた北川アイ子さんも本当に残念
でしたが、2007年に逝去されました。

いまはウィルタを名乗る人はいません。資料館ジャッカドフニも2011
年閉鎖し本年解体いたしました。

ウィルタ協会は、いまでも民族の国の謝罪と戦後保障を日本政府に求めてい
ます。



議院を訴える講演会(衆行委主催)が20日、北星芸術文化ホ
ールで開かれ、議院派市民団体の「九条の会」(東京)の事務
局長で、東大大学院教授の小森陽一氏が講演した。内容を詳報
する。(金子俊介)

九条の会事務局長・小森氏講演

日本国憲法が一番大
事な部分が出来ている
のは趣意です。大日本
帝国憲法では天皇が統
治者だったのに対し、
民主主義が示されてい
ます。また「政府の行
為によって再び戦争の
惨禍が起こることな
いようにする誓い」が、
九条に対応していま
す。九条では、第1項
で、国権の発動たる戦
争と武力による威嚇ま
たは武力の行使は放棄
するという国際協定が
示され、第2項で日本
独自に、戦力の不保持
と交戦権の否認を宣言
しているのです。
1955年に結成し
た自民党は選挙で「憲
法を委ねる」と言いま
した。しかし改憲可能
なる分の以上の議席
は取れず、自衛隊を憲
法違反ではないと説
明せざるをえない状況
が続いています。これ
は憲法に縛られている
ということ。集団
的自衛権の行使も解釈
上認められていませ
ん。湾岸戦争ではメ
リカの求める形で自衛

自民改憲案 独裁に道

隊を派遣せず、世界中
に九条の存在を知らせ
ました。現在も、自衛
隊は武器を持って戦闘
地域に行っています
ん。
ただ安倍、自民党が
圧勝した今回の参院選
後、与党は衆参で連立

教を占め、解釈改憲が
懸念されます。集団的
自衛権を行使できるよ
うにする法律が今年の
秋から年末にかけて国
会に出てくるはずで、
これが憲法に違反して
いないか注視深く見て
いく必要があります。
自民党が昨年策定し
た憲法改正草案の問題
点を見ていきましょ
う。九条については第
2項を削り、国防軍を
保持すると言います。
国防軍の活動は「国際
的に協調して行う」と
ありますが、ここでい

う国際とは日米安保条
約のこと。アメリ
カのみを協調し、アジ
アで戦争するという意
味です。また国外で緊
急事態が生じた時に
「在外国民の保護に努
めなければならない」
この項目を25条を作る
ため、国防軍は国民の
保護を目的にすれば、
相手国の主権を無視し
てどこにも派遣でき
ます。日本企業は政情
不安定な地域に工場
を求めて行っており、
国防軍はいくらでも
侵襲軍になれるので

す。
草案では「緊急事態」
という項目も立てま
す。緊急事態は法律で
いかにしても定めるこ
とができ、その時には
「内閣は法律と同一の
効力を有する政令を制
定できる」と言います。
これは独裁体制です。
国民が最高法規の憲法
によって国家権力を縛
るという政治のあり方
が根本から否定されま
す。「全土国民は、こ
の憲法を尊重しなけれ
ばならない」とも明記
され、憲法を国民に守

解釈・明文化 両輪で見直し 「草の根」で対抗軸を



自民党の憲法改正草案の問題点を指摘しながら意見を語る小森氏

らせるものに変えてし
まうのです。憲法的人
権も、国益が優先なら、
踏みにじっても構わな
いとなります。
第3次安倍晋三政権
では、解釈改憲と明文
改憲が両輪で進められ
ようとしています。九
条の会は、これに対抗
する多数派を作ってい
こうと呼び掛けていま
す。
世論は抽象的なもの
ではなく、近頃なん
のことです。草の根の
活動を共に広げていき
ましょ。

子どもたちに希望を！

『ゆきとどいた教育をもとめる全国署名』が始まりました。今年も全会員に署名用紙をお届けします。

去年は前年を45筆上回り、12名から404筆集まりました。目標は500筆です。誰にでも取り組める活動です。今年こそ1人でも多くの会員の参加で500筆超えに挑戦しましょう。本人のみでも、2人、3人分でもできた用紙はブロック幹事さんか支部事務局まで届けてください。期限は11月25日までとします。ブロック幹事さんは会員に一声かけて集約をよろしくお願いします。

遠軽の幹事は岩澤孝子さんに決定

5月の総会で話し合われた役員改選、遠紋ブロック幹事の件は2名選出で承認され、紋別は田中功さんの留任、遠軽は後日選出となっていたましたが、岩澤孝子さんに決定しました。紋別の田中さんと協力して遠紋ブロックのまとめ役としてご活動ください。どうぞよろしくお願いします。

会費納入のお願い

7月号『銀河』に会費納入のお願いの文書と「払込取扱票」を同封しましたが、8月末日現在で約85%の方から会費が届いています。ご協力ありがとうございました。“これから”とか“うっかり忘れていた”と言う方もいると思いますので8月31日現在の会計処理で未納の方につきまして、再度お願いの文書等を同封させていただきました。早めの納入をお願いします。なお不明な点や行き違いがありましたら会計の奥野（TEL0157-31-7676）までご連絡ください。

